



困った時は共産党に相談しよう



渡辺 みのる
070-2177-7629



山口 みよ
080-5499-3184



さとう 直子
090-3521-0032



浅見 みどり
080-3086-2422



山田 たか子
090-5824-7597

ひとりで抱えていませんか？

ご相談お待ちしております。お気軽にご連絡下さい。

☆シフトが減った ☆コロナのストレスでつらい ☆家族が暴言を吐くようになった ☆子どもの体力が落ちた ☆借金が返せない ☆家賃・ローンが払えない ☆税金が払えない ☆ ☆生活保護を受けたい ☆窓口に行くのがこわい ☆相談先がわからない ☆望まない妊娠をした ☆健康保険証がない ☆年金が減って苦しい ☆仕事が見つからない…

都民の世論と都議会の論戦で切り開いた 「集中的検査」 東京都議会議員 尾崎あや子

小池都知事は4月2日の記者会見で、新型コロナについて国の検査拡大方針への対応で高齢者・障害者施設と病院における「集中的検査」を予備



費 50 億円から約35億円を使うことを発表しました。重症化リスクの高い高齢者・障害者施設等に対する定期的検査は、介護に従事する職員等を対象に、4月から6月の間、月1回を目安に実施。病院の医師、看護師、その他医療従事者を対象に、週1回を目安に実施することが明らかになりました。

日本共産党都議団は、リスクの高い施設での定期的な徹底した検査を一貫して求めてきました。特に2021年度予算案にはコロナ対策が不十分であり、予算の組換を提案し、障害者施設の検査に1億円、医療機関の検査に43億円を盛り込みました。

新年度がスタートして、わずか2日後に予備費を崩すこととなります。都民の世論と日本共産党都議団の論戦で切り開いた成果です。引き続き、検査の拡充、医療機関への支援、事業者への補償を求めて頑張ります。

コロナ渦中の病院・病床削減はストップを！ 20区市民と野党の共同候補 衆議院議員 宮本徹

いま、新型コロナの感染拡大と第四波のリバウンドを小さくすること、コロナ病床の確保と医療体制の強化が急がれています。

ところが菅政権は、この最中に、将来の人口減に合わせて2025年までに医療提供体制を縮小すべきだと主張。

病院が病床削減を行えば、全額国庫負担の給付金をくぼる”病床削減推進法案”を国会に提出し、200億円近い給付予算を盛り込んでいます。

第三波で多くの人が入院できず、自宅で亡くなる方も相次ぎました。今後も繰り返されるだろうパンデミックで命を守れるのか。あまりにも無責任です。

政府が特に狙っているのが、公的・公立病院の縮小。コロナ以前に出した436病院の再編統合計画も撤回をしようとしません。

この中には、率先してコロナ患者を受け入れてきた病院や、村山医療センターなど専門分野でなくてはならない病

院もたくさん入っています。医療と命を守るためにも、政権をかえましょう。



コロナ禍の予算

困った人にもっと 寄り添う市政を

市民の声が届いた事業も

長年、市民が声を上げ、議会で提案してきた要望が実現しました。しかし、東村山市の2021年度予算も20年度の補正予算でも、不急事業の見直しや人員配置の変更などはほとんど行われず、普段通りの予算編成です。市の対応が後手に回っていることなど、市民や事業者に寄り添う姿勢があまりにも弱すぎます。

コロナ禍によって市民や市内事業者が苦境に立たされている中、予算をどのように配分するか、事業を見直すことが重要です。

日本共産党市議団は、オリンピック関連事業の中止や大型開発の延期、事業の見直しなどで予算や人員をコロナ対策に集中させることを提案しました。また、国からの臨時交付金などの活用で、市民や事業者の実態に即した支援策の拡充を求め、21年度予算、20年度の補正予算に反対しました。自治体として本気で市民・事業者の苦難軽減に取り組んでほしいから、市民のみなさんと一緒に声をあげていきます。

東京2020大会関連予算 (聖火リレー&セレブレーション)

東村山の聖火リレーゴール地点、セレブレーション会場となる全生園は、高齢者も多く、感染が広がった時、リスクが非常に高い場所です。

市長は「どんな形でも開催すべき」と推進姿勢を崩しませんが、医療・検査・ワクチン接種のどれも先が見えない中、なぜ、オリパラだけを進めるのでしょうか。コロナ対策を優先し、市として東京2020大会の中止を求めるべきです。



発行：日本共産党市議団NEWS
2021年夏号

発行 日本共産党東村山市議団
連絡先：東村山市本町3-6-12
TEL：042-393-4313

学校トイレの洋式化



生徒・先生から要望されてきたトイレの洋式化。5年間で築年数が高い学校から改修します。

小学校体育館エアコン設置



陳情・署名による市民の声が動かしてきました。去年実現した中学校体育館のエアコンに引き続き、風水害時に避難所となる7小学校(秋津東・青葉・南台・萩山・八坂・化成・野火止)が設置校です。未設置の小学校にも早く設置を!

新生児臨時特別給付金事業



2020年4月28日～22年4月1日までに生まれた子への10万円給付が決定。

前川公園取得に向けた事業



前川流域の溢水対策として雨水貯留施設設置を計画。10年以上前から、地域住民の要望を受け日本共産党市議団が雨水貯留槽の設置を議会で提案。大きな一歩!

ご活用を

市内事業者・農業者への支援事業

日本共産党市議団が求めてきた市内全事業者を対象としたアンケート調査が実現。これはとても大きな前進です。

アンケートには「応援金支給の対象外でも事業は厳しかった」「融資ではなく現金給付を」「閉店も考えている」「地元企業の活用を」との痛切な声があがります。

回答者の約半数が金銭的支援を求めています。ポイント還元や融資の利子補助、新規補助事業も有効ですが、「誰一人とり残さない」ための視点が重要です。

実態調査結果を真摯に受け止め、実態に即した支援を引き続き要望していきます。

また、ICT、SNS、QRコード等の用語が分からないという声も多く、回答者の約2割に支援策が伝わっていませんでした。市内全ての事業者に新たな支援内容を郵送されることになりました。分からない事があればご相談下さい。

日本共産党 Japanese Communist Party

東村山市議団NEWS